

**「地域で活用して」
釧路市に車椅子寄贈**

宮坂建設工業
宮坂建設工業（宮坂寿文社長）は14日、釧路市に車椅子3台（約15万円相当）を寄贈した。同社の社会貢献活動の一環で今年で11回目。市の高齢者支援に活用される。同社では、本社のある帯広市と、支社のある



車椅子を寄贈した宮坂建設の有川副社長（左）、阿部常務（右）と蝦名市長

札幌市と釧路市に毎年車椅子を3台ずつ寄贈している。廃棄物回収業者との間で鉄などの産業廃棄物を重量に応じてポイントに換算し、物品に交換できる制度を活用した。

この日、有川進副社長らが釧路市役所を訪れ、蝦名大也市長に目録を手渡した。同副社長は「高齢化が進む中、車椅子を利用する方も多い。地域で活用してもらえれば」と話していた。

車椅子は、西部、音別、阿寒三つの地域包括支援センターへ各1台ずつを配置し、高齢者への貸し出しなどを行う。（望月祐里）

**宮坂建設工業が釧路市に車いす寄贈
福祉の充実に役立てて**

市長から感謝状を授与

【釧路発】宮坂建設工業（株）（帯広、宮坂寿文社長）は十四日、社会貢献活動の一環として、釧路市に車いす三台を寄贈した。有川進副社長らが市役所を訪問。



蝦名大也市長に目録を手渡し、蝦名市長からは感謝状が渡された。

同社は地域への恩返しの一環として、平成二十年から気持ちから平成二十年から磨品回収業者のリサイクル

ポイント制度を利用し、その貯まったポイントを車いすと交換。帯広市のほか、支社・支店のある札幌市北区、釧路市の三市に毎年三台ずつ車いすを贈っている。

ことしで十一回目の取組で、今回の寄付を含め釧路市への寄贈台数は三十三台となった。

当日は有川副社長、阿部浩之常務、森川博行釧路支店長、建築部の山口優稀氏が来庁。有川副社長が蝦名市長に目録を手渡し、蝦名市長からは感謝状が渡された。

「高齢化社会が進む中、ありがたい」と福祉の充実に役立てる考えを示した。有川副社長は「釧路地域には大変お世話になっているため、お役に立てて光栄。今後も継続していきたい」と述べていた。

贈られた車いすは今後、西部地域と音別地域、阿寒地域の高齢者の相談所にもなっている包括支援センターで利用する予定。

左から有川副社長、蝦名市長、阿部常務

車いす3台 釧路市に寄贈

宮坂建設工業

有川進副社長が蝦名大也市長に目録を手渡し、感謝状を受け取った。市は西部地域、音別地域、阿寒地域の各包括支援センターに1台ずつ配備し、高齢者支援に役立てる。廃品回収のリサイクルポイントなどを活用し、



【釧路】宮坂建設工業（本社・帯広）は14日、釧路市に車いす3台を寄贈した。写真。市役所で

2008年から継続している取り組み。
有川副社長は、阿部浩之常務執行役員や森川博行釧路支店長と共に市役所を訪問。目録と感謝状を交わした後、市内でも多くの工事を手掛けていると釧路との縁を述べた。

蝦名市長は「高齢化、核家族化で将来の介護体制が心配される中、非常にありがたい」とあらためて感謝の意を伝えた。

釧路市に車いす 新たに3台寄贈

宮坂建設工業

宮坂建設工業（帯広、宮坂寿文社長）は14日、釧路市に車いす3台（計約15万円相当）を寄贈した。市役所を訪れた同社の有川進副社長が、蝦名大也市長に車いすと目録を渡し、「車いすは消耗品でもあり、できる限り協力を続けたい」と話した。



宮坂建設工業（本社・支店のある帯広市、札幌市北区、釧路市に、毎年3台ずつ寄贈。

に際してポイント化し、リサイクル業者を通じて車いすと交換する事業を、2008年から行っている。

今回の3台は釧路市西部、音別、阿寒の各地域包括支援センターに1台ずつ贈られる。蝦名市長は有川副社長に感謝状を手渡し、謝辞を述べた。

（平岡伸志）

車いすを寄贈し、釧路市の蝦名市長（右）から感謝状を受け取る宮坂建設工業の有川副社長